

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第4項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年2月14日

**【四半期会計期間】** 第18期第1四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

**【会社名】** 株式会社イデアインターナショナル

**【英訳名】** IDEA INTERNATIONAL CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 橋本 雅治

**【本店の所在の場所】** 東京都港区芝五丁目13番18号M.T.Cビルディング3階

**【電話番号】** 03-5446-9505

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理本部長兼経営管理部長 松原 元成

**【最寄りの連絡場所】** 東京都港区芝五丁目13番18号M.T.Cビルディング3階

**【電話番号】** 03-5446-9505

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理本部長兼経営管理部長 松原 元成

**【縦覧に供する場所】** 株式会社大阪証券取引所  
(大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成24年11月14日に提出いたしました第18期第1四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)に係る四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容に係る訂正箇所につき、XBRLの訂正を行いましたので、併せて訂正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を提出いたします。

訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、清和監査法人により、再度四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第2 事業の状況

#### 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

##### (2) 財政状態の分析

#### 第4 経理の状況

#### 1 四半期連結財務諸表

##### (1) 四半期連結貸借対照表

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_を付して表示しております。

## 第一部 【企業情報】

### 第2 【事業の状況】

#### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

##### (2) 財政状態の分析

###### (訂正前)

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、2,919百万円(前連結会計年度末は2,763百万円)となり、155百万円増加しました。

流動資産は、2,382百万円(前連結会計年度末は2,244百万円)となり、138百万円増加しました。これは現金及び預金の減少(91百万円)等があったものの、商品及び製品の増加(138百万円)及びその他の増加(113百万円)等があったことによるものであります。

固定資産は、536百万円(前連結会計年度末は519百万円)となり、17百万円増加しました。これは有形固定資産の増加(19百万円)等があったことによるものであります。

流動負債は、2,112百万円(前連結会計年度末は1,904百万円)となり、207百万円増加しました。これは未払法人税等の減少(5百万円)及びその他の減少(5百万円)等があったものの、支払手形及び買掛金の増加(212百万円)等があったことによるものであります。

固定負債は、699百万円(前連結会計年度末は725百万円)となり、26百万円減少しました。これは長期借入金の返済による減少(24百万円)等があったことによるものであります。

純資産は、107百万円(前連結会計年度末は133百万円)となり、25百万円減少しました。これは利益剰余金の減少(25百万円)等があったことによるものであります。

###### (訂正後)

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、2,919百万円(前連結会計年度末は2,763百万円)となり、155百万円増加しました。

流動資産は、2,382百万円(前連結会計年度末は2,244百万円)となり、138百万円増加しました。これは現金及び預金の減少(91百万円)等があったものの、商品及び製品の増加(138百万円)及びその他の増加(113百万円)等があったことによるものであります。

固定資産は、536百万円(前連結会計年度末は519百万円)となり、17百万円増加しました。これは有形固定資産の増加(19百万円)等があったことによるものであります。

流動負債は、2,520百万円(前連結会計年度末は1,904百万円)となり、615百万円増加しました。これは未払法人税等の減少(5百万円)及びその他の減少(5百万円)等があったものの、支払手形及び買掛金の増加(212百万円)及び1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債の増加(408百万円)等があったことによるものであります。

固定負債は、291百万円(前連結会計年度末は725百万円)となり、434百万円減少しました。これは転換社債型新株予約権付社債の減少(408百万円)及び長期借入金の返済による減少(24百万円)等があったことによるものであります。

純資産は、107百万円(前連結会計年度末は133百万円)となり、25百万円減少しました。これは利益剰余金の減少(25百万円)等があったことによるものであります。

第4 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	452	360
受取手形及び売掛金(純額)	1, 2, 3 485	1, 2, 3 463
商品及び製品	1,020	1,159
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	285	398
流動資産合計	2,244	2,382
固定資産		
有形固定資産	221	241
無形固定資産	37	34
投資その他の資産	1 260	1 260
固定資産合計	519	536
資産合計	2,763	2,919
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3 357	569
短期借入金	1,267	1,272
未払法人税等	8	2
引当金	16	16
デリバティブ債務	8	9
その他	246	241
流動負債合計	1,904	2,112
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	407	408
長期借入金	310	285
その他	8	5
固定負債合計	725	699
負債合計	2,630	2,811
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	300	300
資本剰余金	238	238
利益剰余金	342	368
自己株式	62	62
株主資本合計	133	107
純資産合計	133	107
負債純資産合計	2,763	2,919

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	452	360
受取手形及び売掛金（純額）	1, 2, 3 485	1, 2, 3 463
商品及び製品	1,020	1,159
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	285	398
流動資産合計	2,244	2,382
固定資産		
有形固定資産	221	241
無形固定資産	37	34
投資その他の資産	1 260	1 260
固定資産合計	519	536
資産合計	2,763	2,919
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3 357	569
短期借入金	1,267	1,272
未払法人税等	8	2
引当金	16	16
デリバティブ債務	8	9
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	-	408
その他	246	241
流動負債合計	1,904	2,520
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	407	-
長期借入金	310	285
その他	8	5
固定負債合計	725	291
負債合計	2,630	2,811
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	300	300
資本剰余金	238	238
利益剰余金	342	368
自己株式	62	62
株主資本合計	133	107
純資産合計	133	107
負債純資産合計	2,763	2,919

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月14日

株式会社イデアインターナショナル  
取締役会 御中

清和監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 川 田 増 三 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 藤 本 亮 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社イデアインターナショナルの平成24年7月1日から平成25年6月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社イデアインターナショナル及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成24年11月13日に四半期レビュー報告書を提出した。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。